

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	情報スペシャリスト学科		2年
科 目 名	キャリア実習 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	岡本 和也
時 間 数	前期：80時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>企業等で、短期間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。</p> <p>また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。</p>		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習開始前に学内で事前指導を行う。実習の目標設定、個人情報への取扱いや守秘義務、心得やマナーについて理解する。</li> <li>・ 実習中、定期的に教員に報告をし、必要に応じて指導や支援を行い、より効果的な実習に繋げる。</li> <li>・ 実習終了後、個人で振り返りを行う。さらに、実習成果報告会を行い、実習を通して得たこと、学んだことを受け入れ先企業の担当者に向けて発表をする。</li> </ul>		
そ の 他			
	前期		
授 業 の 概 要	めざす業界・職種の企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感する。		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができる。</li> <li>・ 実習後、各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことができる。</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	実習評価表 (85%)、成果報告書 (10%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	情報処理技術者Ⅱ	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也	
時間数	前期：91時間／後期： 時間	実務経験：SIerにおいてNW、情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かした講義を行う。		
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。			
目指す検定・資格	経済産業省主催 情報処理技術者試験（基本・応用・高度）			
指導方法及び学生に期待すること	過去問題を中心に、一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。			
その他	なし			
	前期			
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。			
到達目標	情報処理技術者国家試験について合格を目指す。			
成績評価方法	模擬試験結果（20%）本試験結果（75%）出席率（5%）			
テキスト・副読本	過去問題および模擬試験			

## 令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	サーバーサイドⅡ	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	・ 後期	・ 通年	担当教員 藤浦 理恵
時間数	前期：62時間／ 後期： 時間	実務経験：大手企業で、SE として長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。		
科目の目的と講義内容	与えられた課題に対して、学生間でチームを組み、いままで培った Java のシステム開発の技術を総動員し、プロジェクト演習を実施する。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。チーム開発における、多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SE として求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に取り組むことを期待する。			
その他				
	後 期			
授業の概要	与えられた課題に対し、システムの企画、基本設計、プログラミングの工程までの一連の工程を実施しシステムを完成させる。成果物のプレゼンテーションを実施しフィードバックを得る。			
到達目標	・ システムの完成、プロジェクトにおける成果の確認			
成績評価方法	制作物 50%、プレゼンテーション 20% レポート 20% 授業態度 5%、出席点 5%			
テキスト・副読本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Java システム開発技法 JDBC/UML 第 4 版</li> <li>・ Java システム開発演習 第 4 版</li> </ul>			

## 令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	フロントエンドⅡ	科目区分	一般科目	・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">専門科目</span>
開講期	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">前期</span> 後期 ・ 通年	担当教員	若林 潤一	
時間数	前期：63 時間 / 後期：時間	実務経験：県内システム会社勤務を経て WEB サービス会社の社長 COO として従事した後独立。Web システムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。		
科目の目的と講義内容	JavaScript の基本的な文法を習得する。JavaScript を用いて動的なアプリケーションを作成する。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	WEB ページのオブジェクトを操作する方法について、演習を通じて Web サイト制作に必要な知識を教示する。 最終的に Web サイトを独力で作成する演習を行い、知識だけでなく技術的な成長を目指す。			
その他	特になし			
	前 期			
授業の概要	JavaScript の基本文法を学習する。Web サイトに動的なパーツや要素を作成しインタラクティブなサイトを制作する。			
到達目標	JavaScript の文法を用いて、ブラウザの表示を動的に変更するアプリケーションを作成できる。			
成績評価方法	期末試験（70%）、制作物（20%）、授業態度（5%）、出席率（5%）			
テキスト・副読本	プロフェッショナル Web プログラミング JavaScript（エムディエヌコーポレーション）			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	開発技術	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊	
時間数	前期：57時間 / 後期：時間	実務経験：システムエンジニアとして業務システムの企画提案、運用、Webシステムの開発に従事。現場で培った経験をもとに講義を行う。		
科目の目的と講義内容	システム開発におけるドキュメントの作成方法と、チーム開発における Git の使用方法を学習することで、システム開発に必要な関連技術を習得する。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	インプットは動画による事前予習を行い、授業では演習中心の授業を展開する事前に必要な知識をインプットして予習することを期待する			
その他	特になし			
	前 期			
授業の概要	システム開発の上流工程に必要なプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書を作成する。製造工程において Git を活用したソース管理を行う。テスト工程に必要なテスト項目書の作成とテスト手法を学習する。			
到達目標	システム開発に必要なドキュメントを作成することができる Git のコマンドを利用して、ソースコードの管理を行うことができる テスト計画書の作成とテストを実施できる			
成績評価方法	期末試験（70%）、制作物（20%）、授業態度（5%）、出席率（5%）			
テキスト・副読本	Udemy 動画：手を動かして学ぶ IT プロジェクトの資料作成！システム開発のドキュメンテーション技術と成果物テンプレート  Udemy 動画：Git：もう怖くない Git！チーム開発に必要な Git を完全マスター			

## 令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト 学科 2年		
科目名	インフラⅡ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：65 時間 / 後期：時間	実務経験：SIer においてNW、情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かし、学生がインフラ構築に関するスキルを習得できる様、講義を行う。	
科目の目的と講義内容	仮想環境における Linux サーバの構築、基本操作を理解する。 コンテナ型仮想化について理解する。Docker の基本的な使い方を身につける		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	演習を中心とした授業展開を行う。 指示された作業だけでなく、自ら考え、調べ、試すことを実践するような行動を期待する。		
その他	なし		
	前 期		
授業の概要	1 年次のインフラ I で習得した知識をスキルとして確立させる。 Linux サーバ構築、運用技術 Docker の考え方、基本操作		
到達目標	実際にサーバ構築、開発環境として使用できるレベルで使いこなせる		
成績評価方法	期末試験 60%、実習課題 30%、出席率 5%、授業態度 5%		
テキスト・副読本	いちばんやさしい新しいサーバーの教本 (インプレス社) 仕組みと使い方がわかる Docker&Kubernetes のきほんのきほん (マイナビ出版)		

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	プレゼンテーション技法	科目区分	一般科目・専門科目	
開講期	前期・後期・通年	担当教員	近藤 進介	
時間数	前期：30時間 / 後期： 時間	実務経験：システムエンジニアとしての業務経験を活かし、学生がプレゼンテーションに関する技法を習得できる様、講義を行う。		
科目の目的と講義内容	プレゼンテーションと自分自身の関わり、重要性を学生が理解し、就職活動にも役立てられるように、アクティブラーニングを活用し、学生に考える場を多く設ける。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	就職活動や就職後に様々な場面でプレゼンテーションを行う場面がある。プレゼン資料の作成だけでなく、聞き手にとってわかりやすいプレゼンを組み立てる力を、ロールプレイングを通じて身につけることを期待する。			
その他				
	前 期			
授業の概要	プレゼンテーションの重要性を理解し、相手に伝えられる力を身につける。			
到達目標	結論→各論→総論を面接、履歴書の構成で意識して纏められるようになる。			
成績評価方法	プレゼンテーション (50%)、期末試験 (20%)、レポート (20%)、授業態度 (5%)、出席率 (5%) で評価する			
テキスト・副読本	プレゼン上手の一生使える資料作成入門 (株式会社インプレス)			

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	情報スペシャリスト学科		2年
科 目 名	ビジネス実務Ⅲ	科 目 区 分	(一般科目) ・ 専門科目
開 講 期	(前期) ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	岡本 和也
時 間 数	前期：24時間 / 後期：時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。</p>		
そ の 他	<p>各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。</p> <p>人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。</p>		
	前 期		
授 業 の 概 要	<p>1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなるレベルアップを目指す。</p> <p>この知識と今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。</p> <p>また、社会人としての心構えを身につける。</p>		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、早期出社ができるようにする。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>期末試験 (95%)、出欠席 (5%)</p>		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		



令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト	学科	2年
科目名	セキュリティ演習	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊
時間数	前期：39 時間 / 後期：時間	実務経験：システムエンジニアとして業務システムの企画提案、運用、Web システムの開発に従事。現場で培った経験をもとに講義を行う。	
科目の目的と講義内容	セキュリティ技術について基盤となる知識を学習し、実践的な操作ができるようになる。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	座学による知識の習得に加え、演習課題で実践のスキルを磨いていく。 セキュリティ技術に対して積極的に学習し、技術者としての基本スキルを身につけてほしい。		
その他	なし		
	後 期		
授業の概要	企業連携授業を行い、セキュリティの知識と具体的な作業について理解し 検証環境を用いて実際にセキュリティ診断演習を行う。		
到達目標	セキュリティ技術や堅牢化について理解できる 検証環境を用いてセキュリティ診断ができる。		
成績評価方法	期末試験 70%、確認テスト 20%、出席率 5%、授業態度 5%		
テキスト・副読本	安全な WEB アプリケーションの作り方		

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科		2年
科目名	キャリアプランニング I	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期・後期・通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：16時間 / 後期：時間	実務経験：SIer において情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かした講義を行う。	
科目の目的と講義内容	就職活動に向けて、IT業界の最新の動向はもちろん、国内外の様々なビジネスの状況について理解を深める。ニュースメディアとして日経新聞を用いて、情報収集のポイントをはることの重要性を理解する。また、自分自身の強み、弱みと興味関心から志望業界、企業を定める機会となる授業を展開する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	国内外の経済状況とトレンドについて触れることで、就職活動に向けて自分自身の教養を高めるきっかけとしてほしい。		
その他			
	前 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の経済情報、企業動向とトレンドに触れる。</li> <li>・興味関心の高い分野について業界、企業分析を実施、発表も行う。</li> <li>・自己分析を通じて、学生が自身のキャリアプランを考える機会とする。</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新のビジネストrendの理解を深め、レポート作成、プレゼンができるようになる。</li> <li>・自己PRや業界、特定企業への志望を明確化する</li> </ul>		
成績評価方法	レポート提出・プレゼンテーション (40%) (期末試験：50%)、授業態度 (5%)、出席率 (5%)		
テキスト・副読本	なし		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	情報スペシャリスト学科		2年
科 目 名	キャリア実習Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	岡本 和也
時 間 数	前期：時間 / 後期：120時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>キャリア実習Ⅰの経験を活かし、企業等で、短期間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験することで、専門職の魅力や、求められるスキル・人間性を理解する。そして、主体的に活動することにより、社会人として必要な考え方や行動を身に付ける機会にする。</p> <p>また、実習後、自分の適性や今後の課題・キャリアプランを具体的にし、就職活動につなげる。</p>		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習開始前に学内で事前指導を行う。実習の目標設定、個人情報への取扱いや守秘義務、心得やマナーについて理解する。</li> <li>・実習中、定期的に教員に報告をし、必要に応じて指導や支援を行い、より効果的な実習に繋げる。</li> <li>・実習終了後、個人で振り返りを行う。さらに、実習成果報告会を行い、実習を通して得たこと、学んだことを受け入れ先企業の担当者に向けて発表をする。</li> </ul>		
そ の 他			
	後期		
授 業 の 概 要	めざす業界・職種の企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感し、専門職で働くうえで必要な、考え方や行動力を身に付ける。		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができる。</li> <li>・実習後、自分の適性やキャリアプランを具体的にし、就職活動につなげることができる。</li> </ul>		
成 績 評 価 方 法	実習評価表 (85%)、成果報告書 (10%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	情報処理技術者Ⅲ	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 岡本 和也
時間数	前期： 時間／後期： 88時間		実務経験：SIerにおいて情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かした講義を行う。	
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題中心に総仕上げを行う。			
目指す検定・資格	経済産業省主催 情報処理技術者試験（基本・応用・高度）			
指導方法及び学生に期待すること	過去問題を中心に、一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。			
その他	なし			
	後 期			
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。			
到達目標	情報処理技術者国家試験について合格を目指す。			
成績評価方法	模擬試験結果（20%）本試験結果（75%）出席率（5%）			
テキスト・副読本	過去問題 模擬試験			

## 令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	サーバーサイドⅢ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目	
開講期	前期 後期 通年	担当教員	藤井 克俊	
時間数	前期： 時間 / 後期：107 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。		
科目の目的と講義内容	サーブレット及びJSPを用いてWEBシステムを構築できるようになる。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	座学と実習を組み合わせた複合的な授業展開。学生には課題の取り組みと他者をフォローしあう行動を期待する。			
その他	特になし			
	後 期			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Java による実践的な処理とデータ構造の理解</li> <li>・ データベースおよびネットワークプログラミングの理解</li> </ul>			
到達目標	Java の備える各種機能の利用方法や、ネットワークやデータベースを用いた Java プログラムの手法を身につけることを目的とする。 また、Java プログラミング能力認定試験 2 級の合格を目指すことで能力を高める。			
成績評価方法	期末試験 90%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	【テキスト】 スッキリわかるサーブレット&JSP 入門 (インプレス社)			

## 令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	PBL	科目区分	一般科目	・ <b>専門科目</b>
開講期	前期	<b>後期</b>	通年	担当教員 岡本 和也
時間数	前期： 時間 / 後期：107 時間		実務経験：SIerにおいてNW、情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かし、学生がNW構築に関するスキルを習得できる様、講義を行う。	
科目の目的と講義内容	スマホアプリの開発環境である monaca を用いて、クロスプラットフォームのアプリケーションを開発する。 チームで題材を決めてHTML5 アワードに出展する。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SE として求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に課題解決にむけて取り組むことを期待する。			
その他	特になし			
	後 期			
授業の概要	基礎編 monaca を用いたアプリケーションの開発演習 応用編 ニフクラモバイルバックエンドを用いたアプリの開発演習 実践編 monaca とニフクラを用いた自由題材の開発演習			
到達目標	Monaca を用いて、スマートフォンの API や端末機能を活用したスマホ向けアプリケーションを開発できる。MBassS を活用したアプリ開発ができる。			
成績評価方法	期末試験（40%）、制作物（30%）、プレゼンテーション（20%）授業態度（5%）、出席率（5%）			
テキスト・副読本	アシアル社提供の学習スライド Monaca とニフクラ mobile backend で学ぶはじめてのプログラミング ~クラウド連携アプリ開発編			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト	学科	2年
科目名	インフラⅢ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：時間 / 後期：32時間	実務経験：SIerにおいてNW、情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かし、学生がNW構築に関するスキルを習得できる様、講義を行う。	
科目の目的と講義内容	ネットワーク機器、サーバ実機を用い、構築演習などハンズオン中心の講義を展開する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	クラウド、オンプレミス問わずサーバ設定、OS 基本設定、セキュリティ設定を行うことができる知識、スキルを身につけることを期待する。		
その他	なし		
	後期		
授業の概要	1年次のインフラⅠで習得した知識をスキルとして確立させる。 また、実社会でのインフラ構築、運用の知識と技術を学ぶ。		
到達目標	曖昧だったイメージを明確なイメージを持てるようにする。 苦手意識をなくし興味を持ち積極的に学べるようにする。		
成績評価方法	期末試験 60%、実習課題 30%、出席率 5%、授業態度 5%		
テキスト・副読本	オリジナル教材を使用		

## 令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	情報スペシャリスト学科		2年
科 目 名	ビジネス実務Ⅳ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	岡本 和也
時 間 数	前期：時間 / 後期：59時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<p>上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。</p>		
そ の 他	<p>各学科の業界に合わせた就職活動に必要な内容も入れる。</p> <p>人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。</p>		
	後 期		
授 業 の 概 要	<p>1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。</p> <p>この知識と企業研究で得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。</p>		
到 達 目 標	<p>①自ら即就職活動ができる。</p> <p>②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付けることができる。</p> <p>③漢字力・計算力を身に付け活用できる。</p>		
成 績 評 価 方 法	<p>期末試験 (95%)、出欠席 (5%)</p>		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<p>テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会</p>		



## 令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科		2年
科目名	キャリアプランニングⅡ	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">後期</span> ・通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：時間 / 後期：15時間	実務経験：SIerにおいて情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かした講義を行う。	
科目の目的と講義内容	就職活動に向けて、IT業界の最新の動向はもちろん、国内外の様々なビジネスの状況について理解を深める。また、自分自身の強み、弱みと興味関心から志望業界、企業を定める機会となる授業を展開する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	国内外の経済状況とトレンドについて触れることで、就職活動に向けて自分自身の教養を高めるきっかけとしてほしい。		
その他			
	後 期		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の経済情報、企業動向とトレンドに触れる。</li> <li>・興味関心の高い分野について業界、企業分析を実施、発表も行う。</li> <li>・自己分析を通じて、学生が自身のキャリアプランを考える機会とする。</li> </ul>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新のビジネストrendの理解を深め、レポート作成、プレゼンができるようになる。</li> <li>・自己PRや業界、特定企業への志望を明確化する</li> </ul>		
成績評価方法	レポート提出（10%）、プレゼンテーション（30%）、（期末試験：50%） 授業態度（5%）、出席率（5%）		
テキスト・副読本	なし		